第3回　学校運営協議会　議事録

校名	府立岬高等学校
校長名	岸野　敏昌

開催日時	令和7年1月31日（水）
開催場所	大阪府立岬高等学校　会議室
出席者(委員)	保井太郎 会長、 島﨑英夫 副会長、 保田智子 委員、 田中茂樹 委員
出席者(学校)	岸野敏昌 校長、 津田等 事務長 、栩原正明 教頭、 長井一也 教頭
	首席2名、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、保健主事
	学年主任3名、パスファインダー主担、初任者2名
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、令和7年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

1. はじめに
　①校長挨拶

2. 連絡及び報告
　①令和6年度進路状況について
　②令和6年度授業アンケート結果について
　③学校教育自己診断の結果と分析について
　④山海人プロジェクトについて

3. 協議事項
　①令和6年度学校経営計画及び学校評価（案）について
　②令和7年度学校経営計画（案）について

4. 事務連絡
　①来年度の予定

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1. はじめに
　①校長挨拶
近況報告：　スポGOMI甲子園大阪府大会で優勝し11月末に教育長を表敬訪問した。生徒3名がプレゼン資料の作成と発表をし、教育長から激励の言葉をいただいた。12月1日の全国大会では41チーム中17位となり、全国の壁を感じつつもよい経験となった。
山海人、文化祭などの行事では、生徒たちはよい表情で楽しそうに取り組んでいた。
1月には2年生が修学旅行で沖縄にいき、飛行機のトラブルや内容の変更などがあったが、全員無事に終えることができ、楽しんでいた様子だった。3年生は校外学習（USJ）に、1年生はクラスマッチを行い、学年の最後を締めくくる行事として、充実した様子であった。
例年2学期で欠席率が高くなる。今年度も増加したものの、例年よりも抑えられており、12年間で一番低い割合となっている。生徒の頑張りと教員のサポートのおかげであると感じている。
本日は令和6年度学校経営計画の評価と令和7年度学校経営計画の案を検討していただく。

２．連絡及び報告
　①令和6年度進路状況について
資料２－１　今年度の進路状況
今年から頭髪指導が多様な形に変更となったため、3年生は4月ごろは髪色も多様なものが多かったが、就職活動や進学のために頭髪指導をするとしっかりと改善することができた。
昨年度と異なる点は、福祉就労がなくなったこと。今年度の就職希望率は約60％で例年通り、49名中41名が学校斡旋就職で7名が自己開拓、1名が公務員（自衛隊）。現在41名中37名が合格（学校斡旋就職）している。
今年は求人数が大幅に増加しているが、これは求人票のシステム化が進んだ影響で今まで見せられていなかった求人も見せることができるようになったためである。651件と書かれているが、実際には1000件以上の求人が学校に寄せられており、泉州地域以外の企業も紹介している。実際に今年は1名が東京の企業に就職した。
進学を希望した生徒に対して、進学率は100％である。

　②令和6年度授業アンケート結果について
資料２－２
7月に実施したアンケートから9つ中6つの項目が上昇している。特に質問1、7、8については0.1ポイント以上上昇している。生徒たちが変わったということもあるが、教員が生徒の興味・関心を引き出す授業ができていると感じる。

　③学校教育自己診断の結果と分析について
資料２－３　回収率について
生徒94．4％　例年よりも10ポイントほど増加している。要因としては、生徒の出席率の高さがあげられる。
保護者64．7％　例年よりも15ポイントほど増加している。要因としては、生徒の出席率の上昇から、配布物を家に持って帰ってくれていることや、担任との連絡が密であるということがあげられる。
資料２ー３　分析について
生徒：回収率が上がり、肯定的評価も上がっている。「学校へ行くのが楽しい」という回答が大幅に増加している。行事や地域連携の授業など体験的な取り組みを多く取り入れたことからではないかと考える。。「エンパワメントスクール・ステップスクールに来てよかった」という生徒も増加している。7年連続で定員は割れているが、オープンスクールや学校説明会などを多く行っていることで、岬高校はどういう学校なのかを分かった上で入学してくれる生徒が多くなっていると感じる。学習面では、「モジュール授業」や「系列の授業」の肯定的評価は90％以上、ICT機器の活用は昨年度より上昇し、1人1台端末の活用については30％以上上昇している。教員が端末をうまく活用したことが要因だと考える。進路指導については、「進路についての学習をしっかりと行ってくれている」という回答が大幅に増加しており、全ての学年で様々な進路に関する取り組みを行っているためであると感じる。生徒指導に関しても肯定的評価が増加しており、教員が生徒に寄り添いながら粘り強い指導ができたためであると感じる。「自分が努力したことを褒めてくれる」という回答も増加しており、褒められる機会が少なかったかもしれないが、岬の先生は努力したことについて言葉をかけ、生徒もそれに応えようとしているという好循環ができているのではないかと感じる。「担任以外にも相談できる先生がいる」という回答も増加しており、教員だけでなくSCやSSWも生徒に積極的に関わっているためであると感じる。
部活や図書館の利用の割合をもう少しあげたいため、ぜひアドアイスをいただきたい。

　④山海人プロジェクト
資料2−4
毎年10月に実施している、清掃活動をメインとした活動
昨年度：岬町の清掃活動
今年度：1年　あたご山でのつつじの植樹　　2．3年　クラス別で地域の施設訪問や清掃活動を実施。
参加率は増加しており、生徒の肯定的な意見も増加していた。
次年度：今年度のものを継続予定

質疑応答：
①国語の授業などで図書館は使っているのか？
→系列の授業で使っている
中学校では週1で教科の授業で図書館（ラーニングセンター）を使っているため、生徒にとっては身近である。一度岬中学校の図書館を見に行ってみてはどうか。

②内定率が上がった理由は？
面接指導を何度も行ったこともあるが、売り手市場であることや求人数が増加していることがあげられる。まずは入ってもらって、会社の中で育てていくスタイルが増えているため。

3．協議事項
①令和6年度学校経営計画及び学校評価（案）について
1ア「モジュール授業」、「エンパワメントタイム」肯定的意見が多い。 1イ「系列に関する項目」も肯定的意見が多い。 2（1）生徒向け授業アンケート「授業展開」、「生徒意識1」、「生徒意識2」の項目で評価の平均が過去5年間で最も高い。2（2）山海人、体育祭、文化祭の事後アンケートにおける肯定的意見が95％以上。 2（3）ア「高校にはいろいろきまりがあって厳しいが、自分のためになっていると思う」と肯定的意見が78．2％。 イ「障がいのある人や外国の人と交流することで、ちがいを認めあうことの大切さを教えてくれる」と肯定的意見が84.7％。ウ外国人技能実習生・留学生との交流8回。 2（4）ア個別の教育支援計画作成（100％） エ地域連携を活用した活動等を年25回以上開催。 2（5）ア 教員が各自の得意・特技を生かして通級教室の授業を行った。
3イ 会議資料のペーパーレス化、一斉定時退庁日の周知を行った。
4イ 参加依頼のある地域行事に生徒会や部活動、有志が延べ17団体が参加。 ウ 今年度のオープンスクールでは、クラブ体験会は実施せず。

②令和7年度学校経営計画（案）について
R6から大幅に変更
・地域連携がちりばめられていたため、1つにまとめた。
・中期的目標を5つにした。1（2）ICT機器の活用を追記。2（1）特別活動の内容を一つにまとめ、部活動・同好会の活性化を追記。令和9年度の加入率を50％としているが、加入延べ人数を在籍数で割った数とする。（2）イ保護者について追記 （3）キャリア教育の充実について大幅に変更した。3（2）通級指導アンケートについて追記。（3）少人数クラスのアンケートについて追記。（4）アンケートの文言を変更。（5）1年次25人学級など大幅に変更。4（1）地域連携を1つにまとめた。（2）広報活動の充実（enjoy岬やオープンスクール）を追記。5（1）アンケートで問う際に、研修の回数ではなく、充実しているかに変更。

質疑応答：
島崎様
・「めざす学校像」をなぜ変更したのか。
→岬高校の「学校目標」や「育みたい力」を確認した、らとてもよい内容であったので、変更した。
・中期的目標の2「課題発見解決能力」「コミュニケーション能力」「社会で生き抜く力」の育成と書かれているが、「授業の中でこれらの力を育むのは当然として」と標記した方がよいのではないか。
・出席率や欠席率についての記載もあったほうがよいのではないか。

保田様
・3「支援教育」のところにも「授業の中でこれらの力を育むのは当然として」と記載があったほうがよいのではないか。

4．事務連絡
①来年度の予定
第一回 R7年5月23日（金）15：00～16：00
第二回 R7年10月17日（金）11：15～12：30
第三回 R8年1月30日（金）15：00～16：00

次回の会議日程	
日時	令和7年5月23日
会場	大阪府立岬高等学校